

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公開番号】特開2008-152253(P2008-152253A)

【公開日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-026

【出願番号】特願2007-318739(P2007-318739)

【国際特許分類】

G 02 B 5/02 (2006.01)

G 02 B 5/04 (2006.01)

G 02 F 1/13357 (2006.01)

G 09 F 9/00 (2006.01)

F 21 V 5/00 (2006.01)

F 21 V 5/04 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/02 C

G 02 B 5/04 A

G 02 F 1/13357

G 09 F 9/00 3 2 4

F 21 V 5/00 5 3 0

F 21 V 5/04 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月29日(2010.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の山とラビーンとで形成され、光源から照射された光を集光するプリズムパターンと、

前記プリズムパターン上に不規則に形成され、前記光を拡散する複数の拡散パターンと、を含むことを特徴とする光学シート。

【請求項2】

前記拡散パターンは、凸凹形状で形成されることを特徴とする請求項1記載の光学シート。

【請求項3】

前記拡散パターンは、曲面または多面で形成されることを特徴とする請求項2記載の光学シート。

【請求項4】

前記複数の拡散パターンは、互いに隣接した拡散パターンの断面積がそれぞれ異なるように形成されることを特徴とする請求項3記載の光学シート。

【請求項5】

前記プリズムパターンの前記山のピッチは、20 μm ~ 200 μm の範囲内に形成されることを特徴とする請求項4記載の光学シート。

【請求項6】

前記プリズムパターンの前記複数の山は、直線及び曲線のうちいずれか一つの形状で互い

に並んで形成されることを特徴とする請求項 5 記載の光学シート。

【請求項 7】

前記プリズムパターンの前記複数の山は、不規則な間隔を有して形成されることを特徴とする請求項 6 記載の光学シート。

【請求項 8】

前記プリズムパターンの前記山の断面は、一辺が他辺と長さの互いに異なる不等辺三角形状であることを特徴とする請求項 7 記載の光学シート。

【請求項 9】

前記プリズムパターンの前記山のピークは、丸みを帯びた形状であることを特徴とする請求項 7 記載の光学シート。

【請求項 10】

複数の山とラビーンとが順々に形成されたプリズムパターンと前記山を成す面に不規則な拡散パターンとが形成されたサブマスタを作成し、

前記サブマスタの山、ラビーン及び不規則な拡散パターンに対応する山、ラビーン及び不規則な拡散パターンを有するメインマスタを作成し、

前記メインマスタにフィルムを加圧して光学シートを形成することと、  
を含むことを特徴とする光学シートの製造方法。